

りりこでつながる学校・家庭・地域

神奈川県横浜市立八景小学校
個別支援学級(15名)
柿沼先生

活動のねらい

凧々子の栽培を通して

- ・「ピザを作る!」「レストランを開いて先生やおうちの人に食べてもらう!」という明確な相手意識を持ち、意欲をもって栽培活動に取り組む。
- ・「金沢地域活動ホーム りんごの森」のベーカリー班との連携により、トマトの商品化を実現させたり地域の多くの方に知っていただくことで自己有用感を高める。



活動の概要と流れ

- | | |
|------|--|
| 4 月 | <ul style="list-style-type: none"> ・収穫したトマトをどのように調理して食べたいかを児童に募り、選挙を行う。 ・畑の土づくりと凧々子の観察記録開始。 ・トマトのキャラクター作りと「キャラクター総選挙」。 |
| 5 月 | <ul style="list-style-type: none"> ・花の観察・着果促進。 ・強風のため折れてしまった凧々子の苗の挿し芽による復活実験。
(折れた苗や芽かきをした芽を水に挿し発根させた上で土に定植する) |
| 6 月 | <ul style="list-style-type: none"> ・緑の実の観察。 |
| 7 月 | <ul style="list-style-type: none"> ・赤い実の観察。 ・トマトの収穫と収穫数をカウントするトマトカレンダーへの記録開始。 ・カラス対策の検討と防鳥ネットの設置。 |
| 8 月 | <ul style="list-style-type: none"> ・有志の児童・保護者によるお世話と収穫。 ・家庭での調理・調理報告。 |
| 9 月 | <ul style="list-style-type: none"> ・「金沢地域活動ホーム りんごの森」へトマトのお届け。 ・届けたトマトが「りんごの森ベーカリー班」にて「ピザトースト」として商品化。 ・「4組ばたけのうた」創作。 |
| 10 月 | <ul style="list-style-type: none"> ・「りんごの森施設見学・買い物学習」実施。
パン屋さんや施設の見学。
パン屋さんでの買い物学習・「ピザトースト試食」。 |
| 11 月 | <ul style="list-style-type: none"> ・参観日に「親子クッキング」開催。
りんごの森から教えていただいた「トマトピューレ」のレシピをもとに、ピザトーストとミネストローネを調理。 ・授業研究会にて、「4組レストラン トマトの森」開店。
先生を招待してピザトーストとミネストローネを提供。
活動報告とトマトクイズの発表。 |



調理(実習)メニュー

- ・トマトシロップのかき氷
- ・トマトピューレ
- ・ピザトースト
- ・ミネストローネ



実施内容詳細

- ・全校
活動報告のビデオ制作と放映。
全校の先生を対象にトマトレストラン開店。
- ・横浜市金沢区個別支援学級学習発表会
活動報告(クイズ・歌の発表)。
- ・家庭
夏休み中の収穫と畑の世話。
家庭での調理。
参観日の「親子クッキング」。
- ・地域・その他
「金沢地域活動ホーム りんごの森」のベーカリー班へのトマトの提供と商品化。
「りんごの森」施設見学・買い物学習・試食。
「りんごの森」からのレシピ提供。
オリジナルの歌作り。



取り組みの工夫と実践の成果

「トマトのお届けをする！」
「お店の商品にしてもらいみんなに食べてもらう！」
「お家の人と一緒に料理をする！」
「レストランを開いて先生を招待する！」
という、明確な目的や相手意識を持たせることで児童の意欲を高め、学習に意欲的に参加できるように工夫した。
児童たちは、保護者やお店の人・地域の方・先生など多くの方々と接する中で、自分たちの取り組みに対して声をかけてもらい、前向きに学習に参加することができた。また、これまで乗り越えることが難しかった個人の課題も、モチベーションを高く持つことで達成することができた。

感じたこと

個別支援学級の児童にとっては「単元づくり」の際に「活動への動機づけ」と「活動の必然性」・「相手意識」が特に重要であると感じた。
「ピザを作るために、トマトを育てる！」「カラスからトマトを守るために〇〇をする！」
「親子クッキングのためにレシピを教えてもらう！」「レストランを開店するために〇〇をする！」
「取り組みを知ってもらうために発表をする！」
目的が明確になることにより学習に向かうモチベーションや課題に対する向き合い方が変わり、児童の成長や変化が見られた。
単一の野菜(凜々子)を多く育てることで、「学校・地域・家庭での活用」など自己完結しない栽培活動とその後の活動の展開につながるよい機会をいただいた。

ご意見ご感想

今後もこの活動を続けて、多くの学びの機会を子どもたちに提供していただけると嬉しいです。

受賞理由

トマト苗の栽培からさまざまな科目への展開、保護者・地域との取り組みを意識した発展的な授業設計と、児童の皆さんが主体的に考え、行動をする姿勢がとても素晴らしかったです。トマトキャラクターや歌の制作などのアイディアも光っています。トマト苗からつながった、たくさんの出会いと体験が、一生心に残るものとなっていただければうれしく思います。